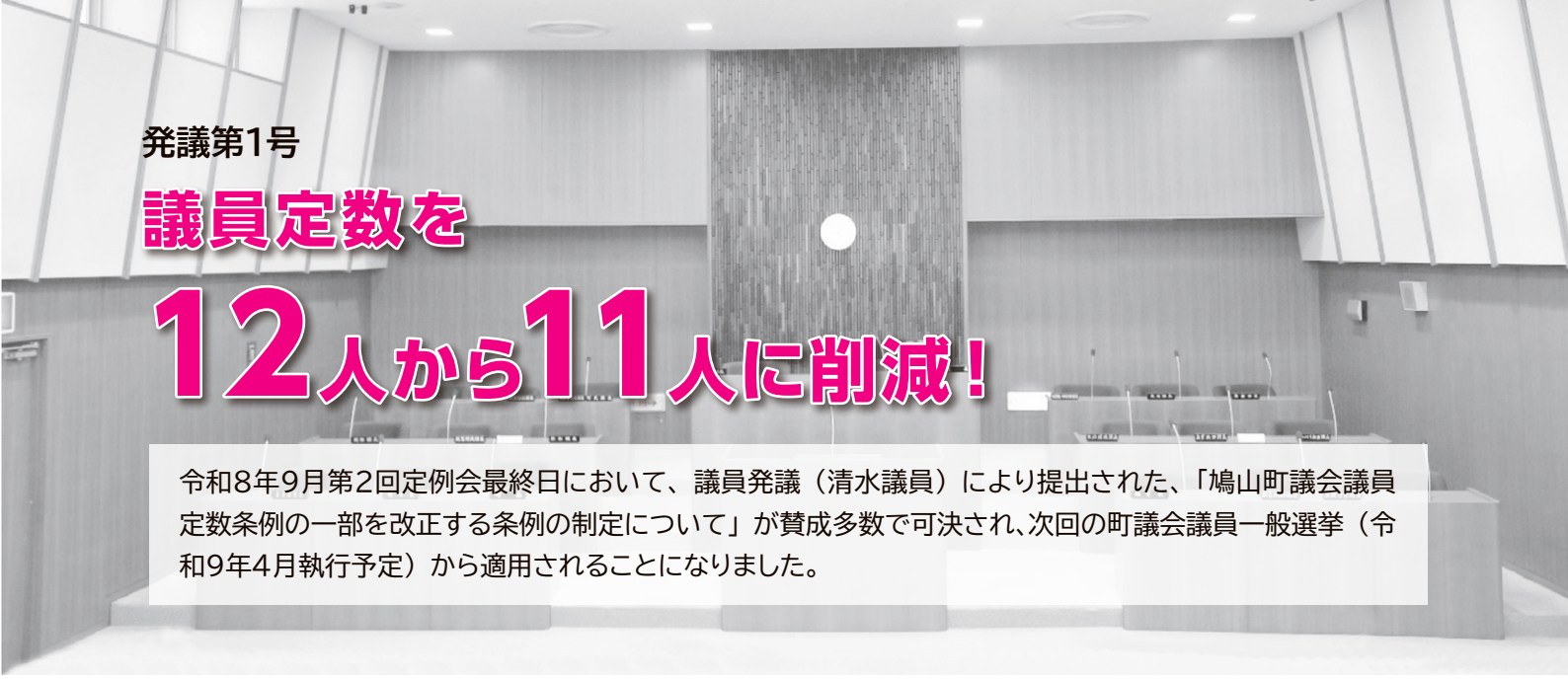


発議第1号

議員定数を12人から11人に削減！

令和8年9月第2回定例会最終日において、議員発議（清水議員）により提出された、「鳩山町議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について」が賛成多数で可決され、次回の町議会議員一般選挙（令和9年4月執行予定）から適用されることになりました。

提案理由

将来を見据えた財政の見通しや人口減少の推移、議会運営上の支障等の面から十分な議論を尽くした結果として、意見の相違が見られたところであるが、9月に議員定数を削減とする方向で大筋の合意形成がされました。議員定数を1人削減したとしても、現在運用しているタブレット端末を活用した資料共有、事前の情報収集の効率化、委員会での専門的審議の充実などにより、議会としての監視機能・政策立案機能・住民意思の反映機能は十分に確保できるものと判断しました。

討論

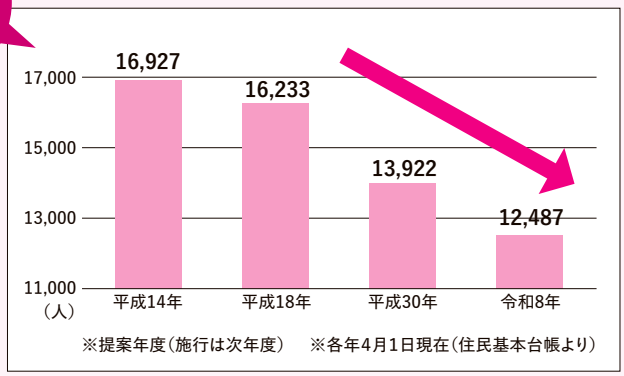
【反対討論】

多様な意見を代表して成り立つのが議会と考える。今後、議会の質を維持し、新メンバーを参加しやすくするためには、削減せずに現状のままにしていくべきと考える。従って議員数削減案には現時点では反対。　（関根）

採決結果

賛成…８人　　**反対…１人　により可決**

人口と議員定数の推移



※提案年度（施行は次年度）　※各年4月1日現在（住民基本台帳より）

平成14年⇒18人から16人（2人減）

平成18年⇒16人から13人（3人減）

平成30年⇒13人から12人（1人減）

令和９年⇒12人から11人（1人減）

意見書3件を可決し、国へ提出

発委第2号

殺傷能力のある武器の輸出禁止を求める意見書

賛成多数
（賛成6、反対3）

【反対討論】

国政に関する議論は国政選挙で示せばよい。国政が町に関わるのなら請願の意味があるが、町議会議員は、まず町の課題に取り組むべきだと考える。（関根）

この請願は国の安全保障政策に関わるため、町の判断範囲を超えており、本町の行政運営や地域産業との関連性も明確でなく、国への提出には反対。（石井徹）

日米安保条約のもと、侵略や武力衝突を抑制し、世界の平和と安全確保のためには、同盟国への防衛装備品提供による防衛力強化協力は必要だと考える。（森）

【賛成討論】

目的外使用や第三国への再移転を完全に防ぐことは難しい。殺傷能力の高い武器の輸出には、厳格な歯止めが必要である。（中山）

日本国憲法のもと、国際紛争を助長しないよう厳しい自制を続けてきた。輸出した武器により無辜（むこ）の民が殺傷されることに痛みと憤りを覚える。（野田）

武器輸出によって他国の人々の命を奪うことは、憲法の平和理念に反する。鳩山町は平和都市宣言を掲げる町として、武器輸出容認の撤回を強く求める。（清水）

発委第1号

ゲノム編集食品の表示義務化を求める意見書

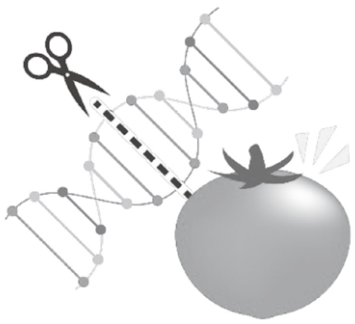
賛成多数
（賛成8、反対1）

【賛成討論】

罰則を伴う義務化を求めるものではなく、情報提供の充実や、将来的な制度の検討を国に求める内容であり、科学的知見と消費者保護の両立を図るものである。（中山）

消費者の手元には、それと分かる情報が何も届いていない。これは、消費者基本法が保障する「知る権利」「選ぶ権利」の実質的な欠落である。知らされずに選ばされる現状を、これ以上黙認はできない。（野田）

食品表示義務のないゲノム編集食品に消費者は不安である。消費者にも食の安全を知る権利・選ぶ権利はあるはず。町民の食の安心安全を守る立場で、全てのゲノム編集食品について表示を義務化することの意見書に賛成。（清水）



発議第2号

米国政府による国際刑事裁判所（ICC）所長などへの制裁に抗議し、法の支配に基づく国際秩序と我が国出身のICC関係者を守ることを求める意見書

全会一致

【賛成討論】

大国の横暴に対し、日本政府に制裁の解除を期待しても、日本政府には力がないのが現状。従って、ICC赤根所長らに対する制裁の解除については、人道的な立場での意見書とみなして賛成。（関根）

日本はICCの締約国であり、最大の拠出国として、その独立性を支えてきた。同盟国との対立を目的とするものではなく、国際司法の独立性と「法の支配」を守るという日本の基本的立場を明確にするものである。（中山）

ICCは集団殺害犯罪、人道に対する犯罪、戦争犯罪を裁く国際刑事司法の中核である。その裁判官や職員が、法を適用したがゆえに制裁を受けることは、許されることではない。日本政府は赤根所長、ICCを守るべき。（野田）

日本はICCの主要な加盟国として、日本政府は従来の主張どおり、「法の支配」を強調し、ICC及び赤根所長を支持する立場を明確にして、「国際的な『法の支配』の終焉の始まり」を防ぐ行動を直ちにとるべきである。（清水）

※意見書の内容は、各二次元コードよりご覧ください。